

学校教育活動等に関するアンケート集計結果について

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、過日行いました「学校教育活動等に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケートでは、本校の教育目標である「英知」、「博愛」、「健康」の3つの観点から、学校の教育活動を4段階で評価していただきました。その集計結果をもとに、分析と今後の取組についてご報告いたします。

【学校教育活動等アンケート結果】（保護者アンケートから）

（１）成果

A（そう思う）とB（ややそう思う）の評価が8割を超えた項目（網掛けは昨年度より向上した項目）

1	お子さんは、楽しく学校に通っている。
2	お子さんは、部活動に積極的に参加している。
6	お子さんは、周りの人に思いやりをもって接し、仲良くしている。
7	お子さんは、自分の良いところがわかり、さらに伸ばそうとしている。
8	お子さんは、「あいさつ」がしっかり身についている。
10	お子さんは、交通ルールを守って登校するなど、安全に気をつけて生活している。
11	お子さんは、周囲の人が気持ちよく生活できるように、他への心配りや奉仕的な行いをすることができている。
15	お子さんは、周りの人の話をしっかりと聞くことができる。
16	お子さんは、宿題や自主学習を毎日行っている。
18	学校は、学校だよりや学年だより等で学校の様子を良く伝えている。
19	学校は、生徒が生き生きと活動する学校行事を企画・実践している。
20	学校は、学習内容がわかるように、工夫した授業をしている。
21	学校は、整理整頓され、美しい環境づくりに努めている。
22	学校は、定期的なアンケートの実施等により、いじめ防止のための取組を行っている。
23	学校は、子ども一人ひとりを大切に、生徒の相談に応じている。
24	授業参観や学年懇談会などで、学校へ行く機会を楽しみにしている。
25	学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じている。

（２）課題

AとBの評価が他の項目に比べてやや低い項目（AとBあわせて7割程度、7割以下の項目）

3	お子さんは、「早寝・早起き・朝食を食べる」など規則正しい生活をしている。
5	お子さんは、服装や身のまわりを清潔に（整理整頓）している。
9	お子さんは、家の手伝いを進んで行うことができる。
13	お子さんは、学習において、わからないことや疑問点があると進んで調べている。
17	お子さんは、自分の考えをしっかりと相手に伝えることができる。

（３）課題に対する分析と今後の取り組み

本校は、「We can change challenge・try」のスローガンのもと、「知識を深め、活用力や創造力を身につけた生徒」、「広い心を持ち、互いに認め合い支え合い高め合う生徒」、「心身ともに健康で、自己の向上をめざし自らを鍛える生徒」を目指す生徒像として教育活動を展開しております。今回のアンケート結果により、明らかになった課題に対して、今後以下のように取り組んでまいります。

① 望ましい生活習慣づくり 3 5

「早寝・早起き・朝ごはん」については、昨年度と比較するとD評価の割合が減り、全体的な評価もやや向上しました（A・Bで64%）。「朝ごはん」については、今年度も栄養教諭等による「食育指導」を給食の時間や学級活動の時間に実施しました。また「朝食を見直そう週間」の調査では、本校の96.2%の生徒が「朝ごはん」を食べてきています。しかし、野菜や汁物の摂取が県や市の割合よりも少なく、朝食の内容に偏りがあるようです。また、「早寝・早起き」に関しては、休日や長期休業中において、生活のリズムを崩してしまう生徒も見られました。

これからの社会生活では、自分で生活をコントロールする力（自己マネジメント力）が求められます。生徒の自己マネジメント力の育成が本校の重点課題の一つでもあります。今後も、「デイリーライフ」を活用した生活習慣のふり返りや道徳・学級活動等の時間を活用した自己マネジメント力の育成を図るとともに、個に応じた支援を行い、保護者の皆様と連携しながら、生徒の望ましい生活習慣づくりに努めてまいります。

② 係活動や清掃（家庭の手伝い） 9

生徒たちは学校でさまざまな役割を担っており、しっかり行っていることが生徒アンケートからうかがえます（A・Bで98%）。しかし、家庭での手伝いについては個人差が見られるようです（A・Bで66%）。学校でも家庭でも自分の役割をしっかり果たせるように指導してまいります。

③ 主体的な学習・学習習慣、進んで発表（表現力） 13 17

本校では、「主体的・対話的で深い学びをめざして～自分のよさや可能性を育む学習指導の工夫～」を重点課題として、日々の教育活動を実践しております。「主体的・対話的で深い学び」の視点での学習指導、タブレットを活用した個別最適化された学習により「生徒がわかる・できる授業」の構築に取り組んでいます。生徒アンケートからは、わかる・できる授業の工夫、改善が感じられています（R2…94%、R3…96%、R4…98%）。また、「自分のよさが分かる」「自分に自信がもてる」「自分は認められている」といった自己肯定感や自己有用感が高まってきていることも、生徒アンケート結果からわかります。（R2…78%、R3…87%、R4…83%）。

しかし、自分の考えを相手に伝える力（自己表現力）については、生徒、保護者ともに課題としています（生徒69%、保護者…74%）。学校生活のさまざまな場面で、相手に伝える機会を増やしたり、語彙力を高めたりしながら、感性を高め、表現力を磨いていきたいと考えます。今後も教育活動の充実に向けて、保護者の皆様との連携を大切にしながら学力向上を図ってまいります。



（４） ご意見・要望について

○習字の授業に専門家を招いてほしい。

→外部専門家を招くにあたっては、地域学校協働事業や特別非常勤講師で申請しております。現在、うねめ太鼓指導と夏季学習会、茶道教室で予算がいっぱいの状況です。令和5年度の予算要求は済んでいるので、今後検討してまいります。

※ 保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。